

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年12月21日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|----------------------------------|----------------|-------------|
| 事業所番号 | 0872100284 | | |
| 法人名 | 有限会社 カサブランカ | | |
| 事業所名 | 有限会社 カサブランカ | ユニット名 | |
| 所在地 | 〒311-1204 茨城県ひたちなか市平磯遠原町17-14 | | |
| 自己評価作成日 | 平成21年8月17日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成12年12月15日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|------|--|
| 基本情報 | 茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。 |
|------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年9月10日 | 評価確定日 | 平成21年12月4日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|-----------------------|
| 個別ケア・家庭的な雰囲気ですアットホーム。 |
|-----------------------|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| 職員の離職が少なく、利用者や家族等と馴染みの関係を構築するとともに、職員のチームワークが良好に保たれ、利用者は家庭的な雰囲気の中で穏やかに暮らしている。 医療機関と連携が密に図られ、在宅医療や夜間診療が受けられる医療体制やターミナルケアの支援体制が整っており、利用者や家族等の安心につながっている。 日々の生活にリハビリを取り入れ症状の改善がみられるなど、自立に向けた支援をしている。 |
|--|

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|---|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 開設時より掲げている理念で「地域社会や家族とのむすびつきを重視し」とあるように、管理者と職員は、その理念を共有しつつ、施設行事などに地域の役員の方々・近隣の方々子供達など招待したりと実践につなげている | 事業所は運営方針を理念と捉えていたため、理念は作成していない。 | 理念は事業所が運営やサービスを提供するうえで何が大切かを考え独自に作成するとともに、作成したままでなく地域や利用者のニーズ、事業所の状況の変化によって現状にあった理念に作り変えていくことを期待する。 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 近隣の散歩時など、挨拶やお話など交わり日常的に交流している | 利用者は近隣の散歩や買い物の際に、地域の人々と挨拶や会話を交わりながら日常的に交流している。 地域の祭りや自治会の奉仕活動に参加するほか、中学生の体験学習を受け入れたり、ホームの行事に地域の人々を招待して交流している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域のお祭りや自治会の奉仕作業に参加させていただいている | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者やサービスの実際、取り組み状況等の報告や話し合いを行っている。又、運営推進会議の話し合いで、町内のゴミ・カン拾いや公園の草むしりなど奉仕作業などの参加の実現や花見やドライブなどする時の良い場所を教えていただいたりとサービス向上に活かしている | 運営推進会議を定期的開催し、現状の報告や地域との連携などをテーマに討議している。 会議で出た意見をもとに地域の草刈りに参加し、その後地域の人々から協力が得られるようになりホームに対する理解が深まっている。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | わからないことや利用者様の様子など、電話でのやりとりや、市役所に出向いて担当者と話をしたりと取り組んでいます。又、市町村担当者の方も近隣まで来た時など、施設に気軽に顔を出してくれています | 市担当課を訪問したり電話で連絡を取り合い、事業所の運営に関しての疑問やサービスの取組みを相談するなど連携を図っている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 施設勉強会等、代表者及び全ての職員が具体的な行為を正しく理解していると思います。又、身体拘束をしないケアに全職員が取り組んでいる | 管理者や職員は玄関の施錠を含め身体拘束の弊害を理解しており、身体拘束は一切していない。 利用者の外出を察知するため玄関にチャイムが鳴るよう工夫をしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待防止法についても、施設勉強会等を開催し、身体拘束の重大さが浸透している又、防止に努めている | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護や成年後見制度についての研修に出席。又、ご利用者の方1名については、社協の地域福祉権利擁護事業を使っていた為、全職員も周知していると思います。今後も必要な方達に活用できるよう、勉強していきたいと思っています | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ご利用者の方やご家族が理解・納得を得られるよう、時間をかけて説明を行っている。又、ご利用者・ご家族等に不安等のある場合お話し入居など、十分に納得していただいた末に契約を結んだりしている | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 入居契約時、ご利用者・ご家族には苦情相談（意見・要望）について、文章により明確に説明を行っている。又、日々の生活の中で意見・要望などが無いのか、職員がさりげないコミュニケーションの中で聞き出したりと配慮してケアを行っている | 玄関に意見箱を設置するとともに、利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等には来訪時に意見や要望を聞くよう努め、出た意見や要望は運営に反映させている。 | 意見や苦情を言い出しにくい家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施するとともに、結果を家族等に報告することを期待する。 ホーム便りの発行の検討を提案する。 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月1回行っているカンファレンス時に職員の意見・提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月1回行っているカンファレンス時に職員の意見や提案を聞き、出た意見等は利用者の支援に活かしている。 管理者は職員の事情を組み入れ、働きやすい職場の環境づくりに配慮している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | シフト作成など、カレンダーを掛けており職員が自由に休みを書き入れ、それによってシフト作りを行い、職員が働きやすいよう、向上心をもてるよう整備に努めている | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 自由に研修や福祉関係の試験などの参加が出来るようシフトの調整など協力的に行っている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 茨城県地域密着型介護サービス協議会・茨城県老人福祉施設協議会・ひたちなか市社協などに入会しており、定期的な勉強会など交流する場があり、色々な情報や分らない事、困っている事、その他、勉強させていただいている。又、それをサービスの質の向上につなげられる為非常に助かっている | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人によりそいながら、安心して生活が出来るよう、日々、努力をしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様によりそいながら、関係づくりに日々、努力をしている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | サービス利用段階時、ご本人・ご家族が何を必要としているのか？今後どのようにしていきたいのか？良く話し合いをし、グループホームとして可能な限りのサービス提供の対応に努めている | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ホーム全体が家庭的な雰囲気であり、「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気で関係を築いている | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | その時々においては、ご家族にも相談しながら、ホームだけのケアだけではなくご家族にも参加していただいたりと、ご本人と共に支えていく体制で取り組んでいる | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人の思いを大切にし、お友達や馴染みの場所など、ご本人の訴えがある時などは、あらかじめ分る所は連絡を先にとるなどして、連れていってあげたり、遊びに来てもらったりとしています | 家族等との関係や地域との関わりを把握し、利用者の希望にそった関係の継続ができるよう支援をしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気を時折話しており、ご利用者様同士、皆さん助けたり、助けられたりと言う関係で生活を送っています | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ご家族も高齢化していることもあり、様々な形でご家族に対しても支援を行っております近隣のご利用者の方が多いため、温かなつながりを大切にしています | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人の思いを大切にし、決して無理強いせず本人のペースにあわせての支援の体制作りに取り組んでいます | 家族等の協力を得ながら、利用者の日々の暮らしの中で思いや意向を把握し支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご利用者一人ひとりの生活歴を把握すると共にその時々場面においては、出来ることなど手伝っていただいたりと把握に努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個人ノートの記録や、スタッフによる報告など、現状を把握するように努めている | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月1度、カンファレンスを行っている。又、本人・家族・医師・看護師の意見など定期的に聞き、介護計画を作成している | 利用者や家族等、医師、看護師と暮らし方の希望を話し合い、意向にそって介護計画を作成している。短期計画は3ヶ月、長期計画は6ヶ月ごとに見直すとともに、状態に変化が生じた場合は利用者や家族等と話し合い随時見直している。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別のファイルを用意しており、個人のケース記録をそれぞれ月別に記入している。バイタル・食事水分摂取量・口腔ケア・整容・内服薬点眼・排泄・気づきなどその日の行動等様々な角度からご利用者の方をとらえて記入している。介護計画の見直しに活かしている | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 個別ケアの取り組みとしても、本人の要望に応じられるよう、職員の配置などにも気を配り、柔軟な支援が出来るよう、日々、頑張っている | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の中での奉仕活動やお祭り、近隣の方々とのコミュニケーションなど安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう、日々、支援している | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診に関しては、本人、家族の希望を大切にしている。又、受診後の報告など電話連絡や必要に応じては、家族の付き添いなどの受診を行っている。かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者が利用前からのかかりつけ医に受診できるよう支援している。協力医療機関の定期的な住診があり、職員は医師や看護師に健康面や服薬について相談し、適切な医療を受けられるよう支援している。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護師等などと日々の情報や気づきなどを相談したりしている。又、適切なアドバイスや看護を受けている | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時、病院関係者との情報交換や相談は常にしている。又、病院には、入院時から毎日、顔を出すようにしている | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 本人・家族等との話し合いを行っている。又、本人・家族等の要望を大切にかかりつけ医と相談しながらカンファレンスを開催し、職員との方針の共有をしている。その人それぞれに合った取り組みを行っている | 在宅看護が受けられる体制となっており、重度化した場合や看取りに関しての対応を医師や家族等と話し合い情報を共有し支援をしている。 | 重度化や看取りに関する意思確認書など、書類の整備を期待する。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 実践力を身につけられるよう、カンファレンス時、必要に応じて勉強会などを開催している | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 様々なケースのご利用者の方を、どうやって昼夜問わず避難できるか？という方法を全職員が身につけている。又、運営推進会議などを通じて、自治会長や民生員の方達とも話し合ったりしている | 事業所独自の避難訓練を実施しているが、消防署立ち合いの訓練を実施するまでには至っていない。 地域の人々の協力が得られるよう、運営推進会議を通して話し合い自治会に依頼するなど協力体制を築いている。 | 消防署の協力を得て様々な災害を想定した避難訓練や避難経路の確認、消火器の使い方などの訓練を定期的実施することを期待する。 |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | プライバシーの確保と言う事で、言葉かけや対応などカンファレンスなどにて、話し合ったり、検討したりして対応をしている | 職員は利用者と家族のように接しながらも利用者の誇りやプライドを尊重した言葉かけをしている。 個人ファイルは事務室に保管し、情報の漏洩に留意している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人が自己決定ができるよう、全職員ケアを行っている。働きかけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 必要な場面において、職員を手厚く配置したり、一人ひとりのペースを大切にし、支援している | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その都度、ご利用者の方と職員が一緒になって洋服を選んだり、さりげなく支援に努めている | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 現在のところ、職員と一緒に準備や食事をする事は困難ですが、食事後、食器を下げてくださいなど、その日の体調や能力にあわせて、片付けをしていただいている | 利用者のできる範囲で食事の下膳を職員と一緒に支援している。 ドライブを兼ねて外食をしたり、店屋物を取ることが利用者の楽しみとなっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個人ファイルに毎日の栄養摂取量、水分量のチェック項目があり、全職員が周知できるようになっている。又、一人ひとりの状態や力習慣に応じた支援を行っている | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアは行っている。又、本人の力に応じた口腔ケアをしている。個人ファイルに毎日の口腔ケアチェック項目あり | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 日中、夜間の排泄状態について、排泄パターンを職員全員が理解・把握しており、自立に向けた支援を行っている | 利用者の日中や夜間の排泄パターンを全職員が把握しており、時間を見計らってトイレ誘導をしたりサインを見逃さないようにするなど、排泄の自立に向けた支援をしている。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘の原因や影響を全職員が理解している。おやつなどにも、なるべく手作りで、素朴ではあるが、ふかし芋など繊維物が豊富に含まれているような食べ物を工夫しているつもりである。又、毎日の散歩など運動なども個々に応じて取り組んでいる | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 現在は毎日、入浴は行っています。入浴者の基本の順番はありますが、入りたい方は体調にあわせてその都度入浴していただいています。入浴の長さは個人の希望にあわせています。入浴時間については、ご利用者の方の疾病などもからみ現在のところ日中で行っている | 利用者の生活習慣を大切にし、希望にそっていつでも入浴ができるよう支援している。 入浴を拒む利用者には、言葉かけを工夫し入浴ができるよう支援している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりのペースにあわせて全職員がケアを行っており、夜間に関しても目が覚めてしまうご利用者の方に対し、夜勤者が一緒に時間を過ごすなど安心できるよう支援している | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬については、再三の注意をしているつもりです。カンファレンス時にご利用者の方の疾病。それによる薬。どういう病気でどういう薬が出ていて、どういう副作用があつて、と言う事については話し合いを行っている。又個人ファイルにその都度、新しくなった処方箋をつけている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご利用者の方のペースにあわせて、ご自分の部屋や共有スペースのお掃除をしていただいたり、気分転換等の支援としては、外出に出かけたり、買い物にでかけたり、ドライブに出かけたりと支援している | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ご利用者の方の希望がある時は、出来る限り希望にそって、用事や買い物など戸外に出かけている。又、ご家族の方の希望で、ちょっとしたドライブやお出かけなど出かけられている | 利用者の希望にそって散歩や外食、買い物に出かけている。 職員は花見など計画を立て利用者が外出できるよう支援している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 金銭管理は施設側で行っていますが、その時々によって（買い物、孫などにあげる小遣いやお祝い・・・）使えるように支援しています | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族に電話をかけたたり、かかってくるきたりと支援をしている | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 食事やお茶の場所がご利用者の方達の集まる中心の共用空間となっており、自由に過ごす場所となっている。季節ごとの花を飾ったりと工夫をしている | 玄関やフロアに季節の鉢植えやソファを設置するなど、ゆったりとくつろぎ居心地よく過ごせるよう配慮している。 調理する匂いや音などを感じながら、利用者は安心して暮らしている。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共用空間として、食事やお茶を飲む場所がご利用者の方達の中心集まる場所ではあるが、その他に長イスなどを置き独りになれたり、気の合った利用者同士お話し出来るよう、工夫に努めている | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人が居心地よく過ごせるように、使い慣れた物や馴染みのある物など、本人や家族と相談しながら工夫をしている | 利用者は家族等の写真を持ち込んでいる。 馴染みの物の持ち込みが少ない利用者には、職員が藤椅子や箆笥などを置き、生活感のある居室となるよう配慮するなど、居心地よく暮らせるよう支援している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 本人と家族より承諾書をとっており、部屋の入り口に名前を分るようにだしてある。又、部屋の入り口に花や人形など飾り、混乱や失敗を防ぎ、安全で自立した生活が送れるよう工夫している | | |

| V アウトカム項目 | | |
|-----------|--|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |

| | | |
|----|--|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない |

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 有限会社カサブランカ

作成日 平成21年12月15日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------------------------|---|---|------------|
| 1 | 1 | 運営方針を理念と捉えていたため、理念は作成していない。 | 状況の変化によって現状にあった理念を作成し、職員達とその理念を共有し、実践につなげたい。 | 全スタッフ参加の会議にて理念を作成した。 | 1ヶ月 |
| 2 | 6 | ホーム便りの発行。 | 定期的にホーム便りを作成していきたい。 | 平成21年12月にホーム便りを作成している段階である。 作成終了後、家族先に郵送予定。 | 10日 |
| 3 | 12 | 重度化や看取りに関する書類整備。 | 入居者の方々の重度化や看取りに関して、その都度意思確認書などの書類の整備に努めていきたい。 | 看取り介護の同意書は作成してあるが、本人・家族の意思確認書を作成し、家族との話しあいを行い、書類整備に努めている。 | 3ヶ月 |
| 4 | 13 | 災害対策として、消防署の協力を得た避難訓練を定期的実施できていない。 | 消防署の協力を得た避難訓練を定期的実施する。 | 11月度に行われた運営推進会議に話しあいをもち、自治会長、民生委員から一緒に合同で避難訓練を行うことが決定。 | 4ヶ月 |
| 5 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。